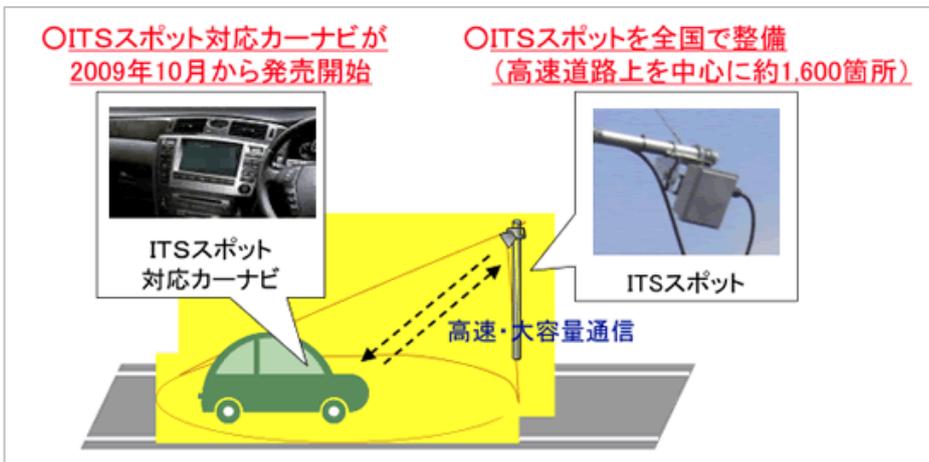


ITSスポットサービスとは

カーナビ・ETCを進化させて一体化し、オールインワンで多様なサービスを実現することです。このオールインワンのサービスに対応する通信手段として、道路に設置された「ITSスポット」とクルマ側の「ITSスポット対応カーナビ」との間で高速・大容量通信を行うことにより、



広域な道路交通情報や画像も提供されるなど、様々なサービスを実現します。この通信機能の中心となるのは、ISO（国際標準化機構）やITU（国際電気通信連合）など国際標準化された高速で大容量の双方向通信を可能とする5.8GHz帯DSRC（Dedicated Short Range Communication：スポット通信）で、これまでETCに用いられてきた通信を効率的に活用しています。ITSスポットサービスでは、これまでカーナビ、ETCなどバラバラの端末で行ってきた各種サービスを、オールインワンのシステムで実現します。

ITSスポットサービスは、3つの基本サービスを実現します。

- ① ダイナミックルートガイダンス
- ② 安全運転支援
- ③ ETCサービス(インターネット接続など)

この中で①は、広範囲の渋滞データで賢くルート選択するサービスです。



詳しくは国土交通省ホームページ(http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j.html/spot_dsrc/index.html)をご参照ください。

●隅田川に架かる橋梁の絵(4/6)

連載4回初めは『吾妻橋』です。

東京都道463号上野月島線吾妻橋支線(雷門通り)を通す橋で、この橋の西岸の交差点は浅草一丁目です。神谷パーなどがあり、浅草中心部に近い橋です。サクラの名所として有名な隅田公園はこの橋がほぼ南端にあたります。

- 構造：3径間鋼製ヒンジ・アーチ橋
- 橋長：150m
- 竣工：昭和6年6月



□羽田空港D滑走路関連事業で、国土交通省より感謝状を受領しました！

～羽田空港再拡張事業～

●関東地方整備局より感謝状を受領しました！

去る9月17日、弊社は東京国際空港再拡張事業（D滑走路建設工事、国際線エプロンPFI事業等）における調査設計等業務の実施により、感謝状を受領しました。

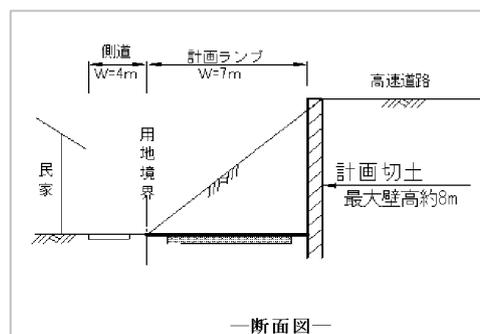
この事業は10月21日に供用開始されたD滑走路を41ヶ月の急速施工により、従来の羽田空港沖に2,500mの滑走路と連絡誘導路を構築したことで有名です。弊社は国際線エプロンPFI事業関連の設計と施工監理業務などを実施し、国土交通省関東地方整備局より感謝状を受領したものです。



●壁高8mの土留め壁形式選定例

計画中の道路改良計画に伴い、高速道路盛土を切土（最大高さ8m程度）しOFFランプを築造する計画である。土留め構造の形式選定にあたり以下の条件があった。

- ① 高速道路用地内に収まる形式であること
- ② 重要構造物として地震時の安定も満足すること
- ③ 高速道路の交通規制を極力行わないこと
- ④ 側道（道幅4m）は通行止めができないこと
- ⑤ 民家近接のため、夜間施工はしないこと



これら種々の条件を満足するよう、構造形式の比較検討は、**構造的適応性**・**現場適応性**・**詳細比較検討**の計3段階で行った。構造的適応性から候補に挙げた現場打L型擁壁や深礎杭擁壁、PC壁体工法などは2次選定（現場適応性）の段階で不適と判断され、表-1で示す2工法を詳細比較することとなった。施工機械やその設置位置、交通規制必要日数等の項目で比較検討の結果、「切土補強土工法」が高評価となった。

表-1 土留め構造比較表

項目/工種	鋼管矢板式擁壁(中掘り圧入工法)(φ1.2m)	切土補強土壁(RRR-C工法) 山留:親杭
主な施工機械	鋼管圧入機 150tクローラークレーン	アボロン(ラフタークレーン装着) アンカー施工機(クローラー式)
施工機械の位置	鋼管矢板上を自走 発進構台設置・撤去は高速道路本線側から施工	親杭:高速道路本線の路肩 アンカー:のり面側
高速道路の交通規制	発進構台設置・撤去は車線規制が15日間	親杭施工時に車線規制が5日間
側道の交通規制	なし	なし
騒音・振動	RRRと比較すると、騒音・振動とも大きい	低騒音、低振動
経済性/施工日数	△	◎
その他	鋼管矢板φ1.2mの中掘り圧入施工は実績がない	高速道路事業での実績はほとんどない(鉄道事業が中心)
総合評価	施工機械は鋼管矢板上を自走するため、施工ヤードを必要としないが、構台の設置・撤去に交通規制が必要 評価:△	施工機械が小さいため、交通規制が短い。また、低騒音、低振動で工費が安価なうえ、工期も短い。 評価:◎



株式会社 東光コンサルテンツ

営業担当：

〒111-0041 東京都台東区元浅草4丁目9番13号
 TEL: 03-5830-5606 FAX: 03-3847-6032
 URL: <http://www.tokoc.co.jp>
 担当: 本社 技術本部 林